

令和8年度 岩倉中学校のみなさんへ

岩倉中学校では、校訓「清新」のもと「知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性と、『生きる力』を身につけた生徒の育成」を教育目標としています。

みなさんには、これからの社会の中で、自らの可能性を伸ばし、多様な人々と協力して働き、豊かな人生を自らの手で切り拓いて、地域や社会の創り手となってほしいと考えています。その基礎となるよう、次のような力を伸ばして行ってほしいと願っています。

◇◆◇こんな中学生になろう（伸ばしてほしい4つの力）◆◆◇

○自分を見つめ、理解し、自らを律することができる生徒

自分の「良いところ」、「できること」、「大切に思うこと」、「したいこと」など、自分の考え方や感じ方を知り、自分の役割を見つけていきましょう。うれしいときは素直に喜び、腹が立ったときや、やる気がでないときには気持ちを落ち着け、自分をうまくコントロールしていきましょう。

自分を「見つめる力」

○自他を大切にし、共に、よりよく生きようとする生徒

自分の思いを伝えたり、相手の話に耳を傾けたりして、人との関わりを大切にしましょう。自分の考えとは異なる意見を受け止め、互いによりよい方法を見つけていくなど、自分も相手も大切にしましょう。チームワークで課題を解決をしていくスキルを身につけてください。

人と「かかわる力」

○視野を広げ、公平でよりよい選択をしようとする生徒

日々の学習や様々な体験活動を積み重ね、数ある情報を広い視野で公平に判断し、「働くこと」の意義を見つけていきましょう。思い描いた将来像の実現に向け、必要なプロセスを組み立て、自らが果たすべき役割や適性を踏まえて、周りとは相談しながら、よりよい選択をしていきましょう。

未来を「えがく力」

○よく考え、主体的に行動し、しくじりも学びにつなげる生徒

活動の課題が何かを発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を解決する姿勢を身につけていきましょう。うまくいかなかったことも大切な学びであり、次につなげていくチャンスと捉えて、たくましくすすんでいきましょう。

決断し「すすむ力」

未来は突然やってくるのではなく、今の自分が歩いていくその先に、きちんとつながっているものです。授業や学校行事、部活動をはじめ、様々な体験や学びの積み重ねが自らを成長させていくことを意識し、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

美馬市立岩倉中学校長 住友 咲子